



# News Letter ☆ PIANC-Japan

## 国際航路協会 日本部会ニュース

October 2013 (Vol.13-3) The World Association for Waterborne Transport Infrastructure

---

### 「海港委員会(MarCom)」と「MarCom Seminar in Japan 2013」が 開催されました

2013年9月11日(水)からの二日間、国際航路協会(PIANC)の海港委員会(MarCom)(フランシスコ・エステバン・レフラー議長)が、仙台のホテルメトロポリタン仙台で開催されました。アジアでMarComの会議が開かれたのは初めてです。MarComはPIANCが組織する港湾に関する多くの技術的な作業部会(WG)を監理する委員会で、PIANCを構成する各国から参画した委員で構成されています。11日の会議には委員9名(スペイン、フランス、ノルウェー、スウェーデン、ドイツ、オランダ、アメリカ、インド、日本)、オブザーバー2名の計11名が出席しました。各WGの進捗状況が報告されたほか、今後のWGの運営の改善について意見の交換が行われました。

二日目には、一昨年の津波災害で被災した後復興が進められている仙台塩釜港(仙台港区、石巻港区)・女川港・石巻漁港を、東北地方整備局港湾空港部・水産庁漁港漁場整備部・宮城県・石巻市などの担当者の案内で視察しました。女川港では津波で転倒したビルに津波の破壊力を改めて実感した他、港湾で施設の復旧が進むとともにコンテナなど荷役活動が回復していること、漁港でせり場が仮設で整備され再開していること、石巻港区で震災ガレキの分別が大規模に行われていることなど、現地の状況を見ることができました。

13日(金)午後には、MarComの仙台での会議の関連行事として、「PIANC MarCom セミナー in Japan 2013」が、国際航路協会日本部会(PIANC-Japan)主催、国土交通省・一般財団法人国際臨海開発研究センター(OCDI)・一般財団法人沿岸技術研究センター(CDIT)の共催で、東京の東海大学交友会館にて約70名の港湾関係者の出席を得て開催されました。

PIANC-Japanの須野原豊会長の挨拶、国土交通省の難波喬司大臣官房技術総括審議官の来賓挨拶のあと、MarComのフランシスコ・エステバン・レフラー議長から「PIANC MarComの活動報告」、MarComのアルジャン・ファン・デル・ウェック委員から「オランダのデルタプロジェクトについて」の発表がありました。さらに、独立行政法人港湾空港技術研究所が中心となった日本のメンバーで一昨年の東日本大震災の津波災害から得られた教訓についてPIANCから特別レポートを出そうとしていることから、その主査を務めた同研究所の高橋重雄理事長がPIANCの津波報告書の内容を発表しました。いずれの講演も参加者の関心が高く、講演後には活発な質疑応答がなされていました。なお、プログラム並びに講演資料を添付します。



MarCom 委員会の様子



Seminar 会場

(PIANC MarCom 委員 樋口嘉章)



Seminar 出席の MarCom 委員

## PIANC MarCom Seminar in Japan 2013

平成 25 年 9 月 13 日 (金)

於：東海大学校友会館

開会挨拶 13:30 国際航路協会日本部会 会長 須野原 豊  
来賓挨拶 13:35 国土交通省 大臣官房 技術総括審議官 難波 喬司  
講 演

1. 【PIANC 海港委員会の活動報告】(13:45~14:55)

Mr. Francisco Esteban Lefler MarCom 委員長

休 憩 14:55 ~15:05

2. 【オランダ・デルタプロジェクトについて】(15:05~16:15)

Mr. Arjan van der Weck MarCom 委員

3. 【PIANCの津波報告書について】(16:15~17:25)

高橋 重雄 氏 独立行政法人 港湾空港技術研究所 理事長

閉会挨拶 17:25

岡田 光彦 一般財団法人 国際臨海開発研究センター 理事長

主催：国際航路協会日本部会 (PIANC-Japan)

共催：国土交通省 (MLIT)

一般財団法人 国際臨海開発研究センター (OCDI)

一般財団法人 沿岸技術研究センター (CDIT)

---

## ExCom (2013.9.23)、Council (9.24) の概要

PIANC-Japan 会長

須野原 豊

マーストリヒト (オランダ) において 2013 年 9 月 23 日に ExCom、24 日に Council が開催されましたので、その概要を報告します。

日本部会からは須野原、国土交通省港湾局中川首席国際調整官、住友ゴムブラッセル駐在の森さん (国土交通省より出向) の 3 名が出席しました。

### 1. 出席者

会長、4 副会長、各委員会の委員長、各国政府代表、事務局

### 2. 主な協議・報告事項

#### (1) Target Countries に対する活動

・PPA (フィリピン港湾公社) の PIANC 加盟に関し、日本のこれまでの取り組みにより、PIANC 本部に加入希望のレターがきていること。Qualifying Member となってもらおうよう、日本部会として引き続きアシストしていくこと。また、インドネシアに対しても、日本の専門家を通じて引き続き働きかけを行っていくことを報告しました。

・その他の副会長からは、現状報告及び今後のネットワーク拡大への取り組み方針等が示

されました。

#### (2) 各委員会活動報告

・MarCom の Francisco 委員長より、仙台での会議、及び、東京セミナーが日本部会の協力により成功裏に行われたこと、並びに日本部会へのお礼が述べられました。

・Y-PCOM の Pablo 委員長より、今年パナマ運河の拡張現場の視察も兼ねて会議を開催し、参加者も多く成功裏に終了した旨の報告がありました。また、2015 年の会議・視察を、ヨーロッパか日本でしたいと考えているとの意向が示されましたので、日本開催の場合には積極的に協力する旨を述べました。

#### (3) Vice-President の枠拡大

事務局より、当面、現在の 4 名枠は拡大しないこと。その代わりに、ExCom メンバーを地域の偏りも考えて拡大することは考えられるとの説明がなされました。

#### (4) 今後の運営・事務局長問題

・Caude 会長より、ここ数年の会員数の減少

と、ベルギー政府からの補助金の縮小という現状をふまえて、今後の PIANC の運営方針に関していくつかのシナリオが提示され、議論を行っていききたいとの発言があった。

- ・特に、本部の予算の見通しからして、2015 年以降事務局長を専任で雇うかどうか、大きな課題である旨の認識が示されました。
- ・2月の ExCom の場に於いて、再度議論するため、Task force を立ち上げて議論進めることとなりました。

#### (5) 2014 年の各賞の選考

- ・ San Francisco での World Congress に併せて最初の WwN Award を選考。  
(担当：John Headland 副会長)
- ・ DPWA2014 の選考 (担当：須野原)

### 3. 今後のイベント

#### (1) 2014 World Congress

アメリカから、来年 6 月に San Francisco で開催される World Congress の概要報告と、論文提出の呼びかけがありました。登録費用は約 1,000 ドル、宿泊費は会場のマリオットホテルは約 250 ドル／泊が目安とのこと。

#### (2) PIANC-COPEDEC 2016

ブラジル側の組織体制は整い、オリンピックの開催後の 10 月に開催予定。日本を含む各国からの資金援助により、途上国より 100 名程度招待可能との認識が示されました。

#### (3) ICOPMAS 2014

イランから ICOPMAS 2012 の概要と、次回は 2014 年に開催するとの説明がなされました。

#### 4. その他

PIANC は基準策定機関でも認証機関でもないことの確認が再度なされました。



開催ホテル（上）と会議風景